

特別展

LOVE いとおしい…っ！

鏑木清方の恋もよう、奥村土牛のどうぶつ愛

Special Exhibition: **LOVE** Japanese Paintings of Adorable Things
- Kaburaki Kiyokata's Romance, Okumura Togyu's Love of Animals -

2025年12月6日(土)～2026年2月15日(日)

主催：山種美術館、朝日新聞社

私たちの身の回りには、さまざまな愛の形があります。恋人同士の燃え上がるような愛、親子や夫婦など家族への愛、生まれ育った故郷への愛、身近な動物への慈しみの愛。また、最近よく耳にする「推し活」も、一つの愛の形といえるでしょう。この冬、山種美術館ではLOVEをテーマにした日本の近代・現代絵画を中心に取り上げ、ご紹介する特別展を開催します。

芸術のモチーフになった愛といえば、一番に思い浮かぶのが恋愛です。鏑木清方は近松門左衛門作の浄瑠璃本『冥土の飛脚』に取材し、名品《薄雪》(福富太郎コレクション資料室)で、悲恋の物語を格調高く表しました。また、家族愛の視点では、愛娘の初節句を祝い描かれた速水御舟《桃花》をはじめ、親子の愛情にあふれる優品が注目されます。

郷土愛の感じられる作品では、川崎小虎が故郷を夢見る子どもの姿を《ふるさとの夢》に表しました。さらに、「目が楽しいから生きものを描くのが好き」と述べた奥村土牛の《兎》など、画家ならではの動物愛が表現された作品も数多くご紹介します。

冬はクリスマスやお正月、バレンタインデーなどで、親しい人、大切な存在に接する機会もあることでしょう。一年で最も愛が身近となるこの季節に、画家たちが多彩に描いたLOVEの名品をお楽しみください。



©Kiyoo Nemoto 2025 /JAA2500120
鏑木清方《薄雪》1917年
福富太郎コレクション資料室
[画像請求 No. ①]



速水御舟《桃花》
1923年 山種美術館
[画像請求 No. ⑤]



池田輝方《お夏狂乱》1914年
福富太郎コレクション資料室
[画像請求 No. ②]



川崎小虎《ふるさとの夢》1928年
山種美術館



奥村土牛《兎》1947年頃
山種美術館 [画像請求 No. ⑫]

本展のみどころ

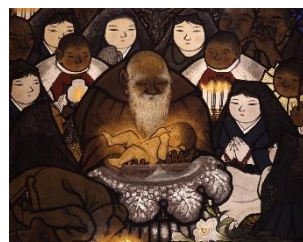
みどころ①

「いとおしい…っ！」があふれた近代・現代の画家たちの作品を一挙公開！

恋愛、家族愛、故郷への愛、動物への愛、さらには信仰に基づく愛など、画家たちがさまざまな愛の形を描いた作品を一挙公開します！



©Akiko Uemura 2025/JAA2500120



左:小茂田青樹《愛児座像》
1931年 山種美術館
[画像請求 No. ⑥]

中:上村松篁《白孔雀》1973年
山種美術館 [画像請求 No. ⑬]

右:小山硬《天草(洗礼)》1972年
山種美術館 [画像請求 No. ⑧]

みどころ②

福富太郎コレクション屈指の名品をご紹介します！

鏑木清方《薄雪》、北野恒富《道行》、池田輝方《お夏狂乱》。いずれも悲しいラブストーリーに基づく福富太郎コレクション屈指の名品をご紹介します！

北野恒富《道行》1913年頃
福富太郎コレクション資料室 [画像請求 No. ③]



みどころ③

小林古径の代表作《清姫》の連作全8点を展示！

能や歌舞伎の題材にもなった、道成寺にまつわる安珍清姫の伝説。それに取材した品格あふれる連作で、古径の代表作《清姫》を一堂に展示します！



《清姫》のうち「寝所」[画像請求 No. ④]



《清姫》のうち「日高川」



《清姫》のうち「入相桜」
いずれも 1930年 山種美術館

■展覧会名：【特別展】LOVE いとおしい…っ！ —鏑木清方の恋もよう、奥村土牛のどうぶつ愛—

■会 期：2025年12月6日(土)～2026年2月15日(日)

■休 館 日：月曜日[1/12(月・祝)は開館、1/13(火)は休館、12/29(月)～1/2(金)は年末年始休館]

■開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■入 館 料：一般1400円(1200円)、冬の学割 大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)

障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)一般1200円(1000円) ※()内は前売料金

きもの特典 きものでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。




■主な出品作品(予定)：約60点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。

鏑木清方《薄雪》福富太郎コレクション資料室、北野恒富《道行》福富太郎コレクション資料室、池田輝方《お夏狂乱》福富太郎コレクション資料室、小林古径《清姫》、奥村土牛《浄心》、小倉遊亀《憶昔》、川合玉堂《鵜飼》、横山操《越路十景》、奥村土牛《兎》、上村松篁《白孔雀》ほか

■会 場：山種美術館(〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル) 電話受付時間：9:00～20:00

■公 式 HP：<https://www.yamatane-museum.jp/>

■公 式 SNS：  

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内)／担当：片山、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町 9-8 KN 渋谷 3 ビル 4F

TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatan-pr@ypcpr.com